

The 1st Meeting of Hirosaki Medical Science Forum

第1回 弘前メディカルサイエンスフォーラム

知の結集、融合、そして創造的変革へ
Together! Toward Innovation

特別講演 1

東京大学循環器内科 教授
日本循環器学会理事長
小室 一成



特別講演 2

ノースカロライナ大学チャペルヒル校 教授
Nobuyo Maeda



特別講演 3

自治医科大学呼吸器内科 准教授
鈴木 拓児



シンポジウム

テーマ
「知の結集と融合から生まれる創造的研究」

会 期

2019年11月30日 (土)

会 場

弘前大学大学院医学研究科
健康未来イノベーションセンター
〒036-8562 弘前市在府町5

会 長

若林 孝一 (弘前大学大学院医学研究科長)

演題募集期間

7月17日 (水) ~ 8月23日 (金)
※医学研究科HPに掲載している応募要項を参照の上、
メールにてご応募ください。

弘前メディカルサイエンスフォーラム 第1回学術集会事務局
実行委員長 富田 泰史 (弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授)
〒036-8562 青森県弘前市在府町5
TEL : 0172-39-5057 FAX : 0172-35-9190 E-mail : hmsf-1st@hirosaki-u.ac.jp

ご挨拶

会長 若林 孝一
弘前大学大学院 医学研究科長



実行委員長 富田 泰史
循環器腎臓内科学講座 教授



医学の進歩は目覚ましく、免疫チェックポイント阻害薬などの分子標的薬、遺伝子変異に基づくがんゲノム医療、AI を活用した医療システムの開発、ロボット支援下手術（ダ・ヴィンチ手術）など枚挙にいとまがありません。その土台となるのは医学研究です。医学研究なくして医学の進歩はありません。昨今、医学・生命科学をはじめとする基礎科学研究全体の衰退が叫ばれています。複数の要因が絡み合った結果と推察されますが、弘前大学大学院医学研究科も例外ではありません。そこで、医学研究科における基礎医学研究をさらに活性化すべく、弘前メディカルサイエンスフォーラムを立ち上げました。このフォーラムの目的は、医学の発展のため、医学研究科一丸となって基礎医学研究を活性化することです。第1回の学術集会を2019年11月30日（土）に開催致します。

今回のテーマは「知の結集、融合、そして創造的革新へ（Together! Toward Innovation）」です。魅力ある創造的な研究は、様々な分野あるいは知の融合から芽生え、そして発展していきます。さらにそのヒントは毎日の実験における注意深い観察、あるいは日常診療から生まれる Clinical Questions の中に隠されています。常に探究心を持ち続け、見出された Questions を大切に、講座や学部の垣根を越えて議論しながら、皆で一丸となってその課題に取り組むことがこれまで以上に求められています。様々な研究者たちとの議論の中から創造的な研究が生まれると確信しています。

今回の学術集会の特別講演では国内外から著名な医学研究者をお招きし、最新の研究成果だけでなく、発見に至る過程や秘話など、研究をさらに Encourage するような内容でのご講演をお願いしています。シンポジウムでは「知の結集と融合から生まれる創造的研究」をテーマとし、弘前大学内あるいは国内外との共同研究を積極的に展開している先生方に、知の結集と融合から生まれる創造的な研究の一端をご紹介します。さらに応募演題の中から高得点演題を選出し、プレナリーセッションで発表していただきます。プレナリーセッションならびにポスターセッションでは Award（副賞があります）を設けておりますので、積極的にご応募ください。弘前大学医学研究科における基礎研究ならびにトランスレーショナル研究の活性化が、今回の弘前メディカルサイエンスフォーラムの大きなミッションです。皆様の積極的な参加をお待ちしています。皆で弘前大学における医学研究を盛り上げていきましょう！